

No.  
**15**

# 新潟市南区 農業振興公社だより

平成26年9月発行

編集・発行 公益社団法人 新潟市南区農業振興公社  
〒950-1292 新潟市南区白根1235 TEL 372-5024 FAX 374-0780  
HP:<http://niigata-agri.or.jp>  
E-mail:[kousya-shirone@beach.ocn.ne.jp](mailto:kousya-shirone@beach.ocn.ne.jp)



## 「果樹作業パート」が猫の手になります 果樹作業パート事業がスタート

昨年度検討してきた「果樹産地活性化総合対策事業」の一対策として提案された「果樹作業パート事業」が3月からスタートしました。

果樹作業パート事業は高齢化や担い手不足が深刻な果樹農家の労働力支援を行うもの。公社では、20歳代から70歳代までの男女18人の果樹パートを採用し、技術研修などを行い、農作業を受け負いました。

8月1日現在の利用農家は31戸で、請け負った作業は、枝拾い、受粉、摘果、袋かけ、傘かけなどを行っています。パートの長井松男さんは「初めての仕事で大変だったが、やりがいのある仕事に感じ

た。製品になるまでの農家の大変さがよく分かり、勉強になった」と話しています。また、利用農家の小林忠勝さんは「人をお願いするのもなかなか難しくなっているところに、事業が身近で開始され、非常に便利でありがたい」と今後の期待を語ってくれました。

8月以降は依頼作業があまりなくなってきた状況ですが、次年度以降もパートを増員し、果樹農家の労働力不足や規模拡大を支援していきます。パートの利用申し込みやパートへの登録については、お気軽に公社にご相談ください。





公社では、南区から「資源循環事業」を受託し、この秋から事業を実施します。最新のマニアスプレッタをリースし、2組織に作業委託して約117haの水田に散布を予定しています。



「AOBA」の堆肥散布

新潟市合併建設計画で旧白根市が提案した「資源循環センター建設事業」は、耕畜連携による堆肥散布を推進する「南区資源循環事業」に見直しされ、これを公社が受託し、堆肥散布システムを構築します。

当初は、白根地区をモデル的に実施する予定でしたが、既に堆肥散布事業を行っている味方地区の堆肥散布組織「AOBA」も事業に参加することになりました。

白根地区の堆肥散布は、JA新潟みらい稲作部会（特裁米部会）の要望に基づいて実施するもので、堆肥製造及び散布は(有)キープクリーンに業務委託を行います。今年度は豚ふん堆肥を旧白根市全地区に約17haの散布を行う予定です。

一方味方地区は、堆肥散布組織「AOBA」が行っていた堆肥散布事業を、公社を通じて行うもので、味方地区を中心に、牛ふん堆肥を約100haに散布を実施する予定です。

公社では、事業実施のために、マニアスプレッタや付属の機材をリースし、それぞれの組織に貸与します。

国策として環境保全型農業を推進している中で、新潟市の先駆けとして、公社がモデル的に資源循環事業に取り組むことになりました。長期的な視点で、事業を推進し、エコファーマーの増加や環境保全型直接支払制度（堆肥散布交付金）の対象面積拡大を図っていきます。

# 南区資源循環事業を実施します

## マニアスプレッタで水田に堆肥散布

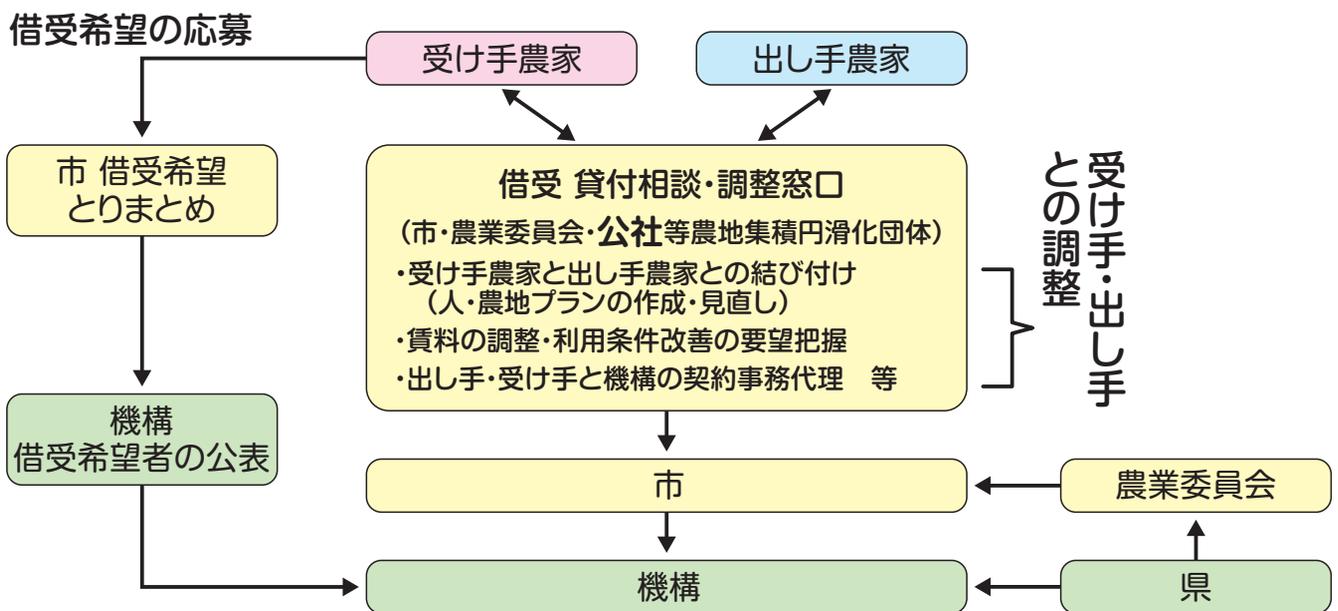
# 農地中間管理機構事業を公社が受託

農地中間管理機構は平成26年4月から各県に設立され、農地流動化に伴う国の支援策（経営転換協力金、耕作者集積協力金、地域集積協力金）を受けける場合は、機構を仲介して利用権設定を行わなければなりません。公社は、機構からこの事務を受託しました。出し手の皆様は、これまでと同様に公社にご相談ください。

受け手の皆様も公社が借受希望の取りまとめを行い、出し手とのマッチングを行います。借受についてもこれまでと同様に公社に申し出ください。

なお、機構事業の賃貸借料精算は、機構が行い、出し手、受け手とも料金の1%が手数料として徴収されます。また、利用権設定手続きは4か月を要しますので、ご注意ください。

## 農地中間管理事業の流れと公社の役割



### 〔新潟市南区農業振興公社と農地中間管理機構との業務委託契約内容〕

- ① 相談又は苦情に応ずる窓口の設置
- ② 認定農業者等への借受希望者募集の広報
- ③ 借受希望者の応募の取りまとめ
- ④ 農用地等の所有者等からの申出の受け付け
- ⑤ 賃借期間や賃料等の必要事項の協議・調整
- ⑥ 契約締結等事務(解除を含む)
- ⑦ 農用地等の利用状況報告の取りまとめ
- ⑧ 農用地等の貸付希望者及び借受希望者の掘り起こし

今後農地の出し手に対する政策支援を希望される人は農地中間管理機構を通じた利用権設定が条件となります。また、公社等農地集積円滑化団体を通じた既存の案件について、合意解約し、機構契約をしたとしても経営転換協力金返納の必要がない場合もあります。詳しいことは相談窓口の公社、JA営農センターにご相談ください。

#### 〔出し手に対する政策支援〕

1. 地域に対する支援（地域集積協力金）
2. 個々の出し手に対する「支援（経営転換協力金）」
3. 農地の集積・集約化に協力する耕作農家に対する支援（耕作者集積協力金）

※公社で取り扱っている農地賃貸借案件については、変更等の申し出がなければ、今までどおり公社で賃貸借料の精算をします。

## 新規就農者紹介

グレープガーデンを  
さらに盛り上げたい



### 新田 詩絵里さん

平成25年6月から(有)白根グレープガーデンに就農した新田詩絵里さん。就農前は県内のテレビ局で番組制作に関わっていました。その中で、農家の取材機会に恵まれ、自然と共生する仕事であることに感動と興味を覚えたそうです。

就農した去年は、ぶどうの摘粒や、8月のギフト発送、観光果樹園のお客様の接客、いちごの栽培管理や、いちごジャムの製造を経験しました。ハウス張りで屋根の天井に上ったことも。

今年はブドウの花粉付けなどの作業を経

験しました。「摘粒作業が少し辛かった」と苦労したところを話してくれました。

「生産から販売までの一連の作業にやりがいを感じます。栽培、加工、接客の技術を高め、ジャムなどの加工品を販売していきたいです。お客様の笑顔が励みになります。そしてグレープガーデンを盛り上げていく一人になりたい」と抱負を語ってくれました。

笠原社長も「観光農業なので、栽培、加工、販売の一連の作業を通じてスキルアップしてもらいたい」と期待を寄せています。

## 南区農業振興公社平成25年度決算報告

### ●収入

単位:千円

会費	1,323	正、特別会員
事業費	57,009	農用地利用集積事業
負担金	3,042	関係機関・団体負担
雑収入	7	預金利息
前期繰越金	795	前期繰越
合計	62,176	

### ●支出

事業費	60,006	農用地利用集積ほか
管理費	1,525	光熱水費、事務費
予備費	0	
合計	61,531	

次年度繰越額645千円

詳しくはホームページをご覧ください。

### 編集後記

果樹作業パート事業がいよいよスタートしました。初めての取組で、若干のトラブルもありましたが、順調な滑り出しです。今後は、パートさんの増員と技術研修を一層充実させ、より多くの果樹農家の皆様からご利用いただきたいと思えます。◆資源循環事業も今年度からのスタートとなります。環境保全型農業の推進とエコファーマーの支援になればと期待しています。◆こうした取り組みによって、公社事業に賛同していただける特別会員が131人と25年度末から21人の増加となりました。会員になっていただいた皆様の期待に応えられるよう、公社事業を充実させていきます。